事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　ガリュー	支援プログラム（児童発達支援）	作成日	2026 年	4 月	1 日

法人（事業所）理念		「君という『龍』が、いつか高く飛べるように」				
支援方針		・集団活動と個別活動をおこない、活動のなかでコミュニケーションスキルや日常生活のスキルの向上をはかります。 ・個々に合わせた進学等の移行に際し、ご家族や関係各所と連携をとりながら適した社会資源が提供されるよう支援します。 ・非認知能力を鍛え、小学生に移行し、に困った時に対応できるよう支援します。				
営業時間		月～土　9 時　0 分から　18 時　0 分まで		送迎実施の有無	あり	
		支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	・基本的生活スキルの獲得（定期的なクッキングやお掃除などでの家事体験、トイレトレーニング、身だしなみやお買い物練習に関する支援等） ・心身の健康状態の把握（来所時の検温、普段と違う様子がないかなど支援中の健康観察） ・生活リズムの確立（定時におこなう活動や長期休暇時の規則正しい生活の維持等）				
	運動・感覚	・感覚統合療法（触覚を刺激する遊び、トランポリン、縄跳びなどの体幹トレーニングやバランス感覚や空間認知等） ・姿勢の保持（活動時、あいさつ時などの姿勢指導等） ・粗大運動（定期的な運動を取り入れ、発散・運動する習慣を身に着ける） ・微細運動（季節の制作を行いながら、ハサミや糊付けなど、また、ストロー通しやボタン結び、ペグさしなどの指先の力をコントロールする力を育む） ・身体のコントロール（緊張、弛緩などコントロールすることで気持ちやテンションのコントロールへも役立ちます）				
	認知・行動	・日付の把握や天気、季節の変化などに関する認知の形成（カレンダーでの確認や季節の行事や制作等） ・見通しを持って、安心して活動に参加する能力の形成（ホワイトボードにスケジュールの提示や、言葉かけ、タイマーの活用） ・物質の変化と感覚に関する認知の形成（粘土・スライム・パン粉など様々な感触遊び、水遊び等） ・認知スキルの向上（パズル、知育玩具、記憶力ゲームを通じて協力する力、問題解決能力や記憶力を育む） ・社会的スキルの育成（ソーシャルスキルトレーニング（SST)や役割遊びを通じて友だちとのコミュニケーションや協力の仕方を学ぶ） ・自己調整スキルの育成（感情の認識とコントロール、タイムマネジメントを伝え自己調整能力を高める）				
	言語 コミュニケーション	・言語の獲得・聞く力の形成（人の話や絵本、会での発表を聞く等） ・発語の内容・表出支援（始まりの会、活動のルール決め、帰りの会などの当番活動での発言機会をつくる） ・基本的なあいさつができる（ありがとう・ごめんなさいなどの基本的な挨拶が自然に出せるように、指導員が見本となり、また伝える場面で適切に伝えられるよう練習を行う） ・コミュニケーションスキルの向上（ロールプレイやソーシャルストーリーを通じて日常会話のスキルと社会的な適応力を養う）				
	人間関係 社会性	・異年齢との関わり（年上の子との関わり方、年下の子への関わり方、同年代の子との関わりなど、幅広い人間関係の中で、人と関わるスキルを身につける） ・SSTで他者との関りの形成（ごっこ見立て遊び、レクリエーションなどで個々の遊びから集団遊びへ意思を尊重しながら促していく） ・協同遊びへの支援（役割のある遊びやルールのある遊びなどで適切な行動や会話の体験） ・社会資源の活用（公園や図書館、児童館などの公共施設）				
家族支援		・定期面談（6か月に1回）を行い児童の成長や課題について保護者と話し合いサポートします。 ・訓練の見学を案内し、家庭での支援方法の提案や訓練の経過を伝え継続的に児童をサポートできるよう支援します。		移行支援	・生活スキルの向上（金銭管理や家事スキルの活動の機会を設定し自立した生活を送るための基本的なスキルを育てます。） ・自己理解と自己決定（自分の強みや希望を理解し自分で決める力を育てる支援をおこないます。）	
地域支援・地域連携		・地域施設の利用（公園や図書館などの公共施設を利用し地域資源を活用します） ・地域連携の強化（学校や福祉サービスと連携し包括的な支援体制を整えます） ・情報提供（SNSを活用し地域に活動内容や障がいについての理解を深めます）		職員の質の向上	・定期的な研修の実施（虐待研修や、日々の療育についての研修、感染症予防についての研修など様々な視点で研修を行い、職員の専門性を高めます） ・評価とフィードバック（定期的な評価とフィードバックをおこない多角的な視点から職員の成長を支援していく）	
主な行事等		・季節の行事（夏祭りやハロウィンパーティー、クリスマス会など） ・避難訓練（年に２回）				